

公開しなければいけない臨床研究

臨床研究の情報公開について

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療データをまとめたり、当院に保管してある試料（血液検体や病理標本等）を用いたりして行います。このような研究は、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされております。

利用する情報や検体からは、お名前、住所など、直接同定できる個人情報削除します。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。この研究では、共同研究機関である長崎大学へ個人が特定されないよう情報を提供いたします。

この研究に関して、研究計画や関係する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

この研究は奈良県立医科大学医の倫理審査委員会の承認を受け、学長の許可を得て行っております。

***利用する情報に合わせて下記のどちらかにチェックをつけてください。**

【個人を特定できる場合】

ご自身またはご家族等が、過去の診療データや保管している試料を研究に使用してほしくないと思われる場合や研究不参加を申し出られた場合は以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。その際はこの研究で得たあなたの試料・情報等は全て廃棄いたします。いずれの場合もなんら不利益を受けることはありません。

【個人を特定できない場合】

利用する試料・情報は特定の個人を識別することが出来ないように加工した情報のため、過去の診療データや保管している試料を研究に使用してほしくないとして申し出ていただいても個人を特定できないため対応できません。あらかじめご了承ください。研究に関するお問い合わせなどがある場合には下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

研究課題名	周術期口腔機能管理による食道がん術後肺炎予防効果の検討
所属（診療科等）	奈良県立医科大学 口腔外科
研究責任者（職名）	青木 久美子（医員）
共同研究機関	（研究機関）長崎大学周術期口腔管理センター（責任者）五月女さき子
研究期間	奈良県立医科大学学長許可日～2018年12月31日
研究目的と意義	食道がん手術患者に対する口腔ケア実施が術後肺炎発症率を低下させることが出来るか検証します。

研究内容	<p>●対象となる患者さん 胸部食道がんの患者さんで、2015年1月1日から、2016年12月31日の間に胸腔鏡補助下食道切除術を受けた方を対象とします。</p>
	<p>●利用する情報 年齢、性、喫煙歴、飲酒歴、糖尿病の有無、免疫抑制剤使用の有無、呼吸機能（1秒率）、ヘモグロビン、アルブミン、クレアチニン、腫瘍の部位、病期、手術時間、出血量、術前化学療法の有無、食道再建方法、術後嚥下障害の有無、歯科介入の有無、術後肺炎発症の有無、発症した場合は肺炎発症診断日、手術から退院までの日数、転帰</p>
	<p>●研究方法 周術期口腔機能管理を行った患者さん（口腔管理群）と、それ以前の周術期口腔機能管理を行っていない患者さん（対照群）を登録し、統計学的に解析を行います。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：青木 久美子（医員） 奈良県立医科大学 口腔外科 住所：奈良県橿原市四条町840 電話：0744 (29) 8875 FAX 0744 (29) 8875</p>